**「キャリア・パスポート」をサポートする「振り返りシート」の活用について**

**○「キャリア・パスポート」は異学年、異校種をつなぐ**

　「キャリア・パスポート」は、子供たちの夢の実現に向けて、小学校6年間、中学校３年間、高校３年間をつないでいく取組です。

　年度当初に学期の目標や年間の目標を決めて学期ごとに「振り返り」を行い、「キャリア・パスポート」にファイリングします。その記録を積み上げることで、自己のキャリア形成の足跡を振り返ることができると同時に、さらに未来への展望を描くことができると考えています。

**○「振り返りシート」は「キャリア・パスポート」の取組の間をつなぐ**

しかし、「キャリア・パスポート」の取組だけでは、目標に向けて取り組んだことについて振り返るのは、学期１回程度になります。

それだけでも効果はありますが、設定した目標に向けて、努力の継続を意識させるためには、「キャリア・パスポート」の取組の間をつなぐ、もう少し短い単位の振り返りを行うことが効果的だと考えます。

　ここで示す振り返りシートはあくまで例示です。各学校の実態に合った振り返りシートを工夫してみて下さい。

**○アクティブ5（振り返りシート例）について**

アクティブ5は、中頭地区で実践されている「振り返りシート」の一つです。掲載されている資料は北中城小学校で活用されているシートで、1週間に1回（金曜日の朝に設定）実施し、学校が設定したキャリア発達に係る評価項目について児童が自己評価していきます。このアクティブ5をもとにして、学期末、年度末の「キャリア・パスポート」の評価につなげていきます。

学期当初に目標を立てても、定期的に振り返ることがなければ、学期末の評価が曖昧になってしまいます。アクティブ5の取組は、いうならば児童自身が行う、スモールステップのPDCAマネジメントと言えます。

**○ファイリングして次学年につなぐ必要はありません**

※このシートはあくまで「キャリア・パスポート」をつなぐ取組であり、「キャリア・パスポート」にファイリングして次学年につなぐ必要はありません。（年間で書き綴ったシートの中から印象的なシートを１枚程度ファイリングすることはあってもいいかもしれません）